

新現役ネット「技術総合支援グループ」：第7回技術総合支援フォーラム 「知的所有権の多目的活用と争訟について考える」ました。

新現役ネット「新現役ネット技術総合支援グループ」(<http://gssg-shingeneki.com/>、代表：大塚喜弘)は、千葉県商工労働部のご支援のもと、2003年12月11日午後、東葛テクノプラザ（柏市）で第7回技術総合支援フォーラムを開催しました。

当日は生憎の天候で、しかも柏駅から更にバスで30分という場所でしたので、参加者はやや少なめでした。しかし、お互いに顔見知りという方々も多くなっていましたので、集まれば「やあやあ」ということでした。

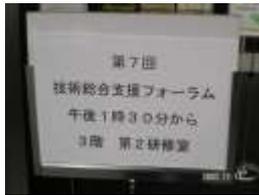
大塚代表の開会挨拶に続き、千葉県知的所有権センターの特許流通アドバイザー・稲谷稔宏氏による「知的所有権の多目的活用によるビジネス展開－特許流通支援事業の現状について－」という題の講演がありました。ここでは、企業や大学・公的研究機関で眠っている特許等を他の企業に紹介して実用化を図るとい同センターの事業がゴルフのパット練習器や超音波による酒類精製技術など成功事例と併せて紹介されました。

引き続き、職業能力開発総合大学校開発研究部研究員桜井博行氏による知財講演第3弾「近年の争訟からみた知的財産権」が行われました。ビジネス特許、アルゴリズム特許などについての質疑応答が飛び交いましたが、時間切れとなってしまったのは残念でした。

講演の後、立食形式の懇親会が催され、参会者相互の名刺交換・自己紹介が行われる一方、講演に関する質問や論議に花が咲きました。



東葛テクノプラザから



掲示板



受付風景



小穴さん司会で開演



大塚代表挨拶



講演開始



稲谷氏



稲谷氏



参加者の皆さん



講演風景



桜井氏



桜井氏



質問時間



懇親会の始まり



懇親会風景



懇親会風景



懇親会風景



懇親会風景



懇親会風景



懇親会風景